

JAXAにおける人材育成の 取組について

2021年7月28日

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
理事 石井 康夫

JAXAにおける人材育成の取組の全体像

対象	主な事業・施策・制度	主な担当
学生	大学院教育協力、連携大学院、インターン等	ISAS他
若手研究者	宇宙航空プロジェクト研究員、特任助教(テニュアトラック)、学振PD受入等	ISAS他
産業界・国	人材交流(出向・招聘等)、人材流動性向上	全社/人事
JAXAプロパ職員	OJT(キャリアパス)、Off-JT(研修、助成、兼業等)	全社/人事
青少年	宇宙教育等	宇宙教育室

大学等と連携した人材育成の強化策をISASにて検討中。(別資料にてご説明)

学生及び若手研究者育成に関する取り組み

制度	対象	概要
インターンシップ 学生実習制度	高専～ 大学院	短期の就業体験。機構の知見・技術の習得を目的に、学生指導を行う。
連携大学院 受託指導学生	大学院	大学との協定に基づき、学生を受け入れ、教育及び研究指導を行う。
リサーチアシスタント		JAXAの学術研究等に係る研究補助を行う。
日本学術振興会 特別研究員（PD等）	若手 研究者	日本学術振興会（学振）特別研究員の受け入れを行う。
宇宙航空プロジェクト 研究員		若手研究者の育成を目的とし、研究開発業務に従事する。
特任助教 （テニュアトラック）		優れた研究等を行う能力及び資質を有する者に、テニュアを付与する。
外部研修員	社会人	国、地方公共団体、企業、大学等に在職中の研究者又は技術者を受入、指導を行う。

宇宙航空分野人材の拡大とJAXA人材育成施策

宇宙・航空分野人材の更なる拡大に向けた内外での育成機会の確保と流動性の推進

人材流動性向上／人材交流の促進、
チャレンジしやすい／働きやすい環境整備
に係る多様な施策を総合的に推進

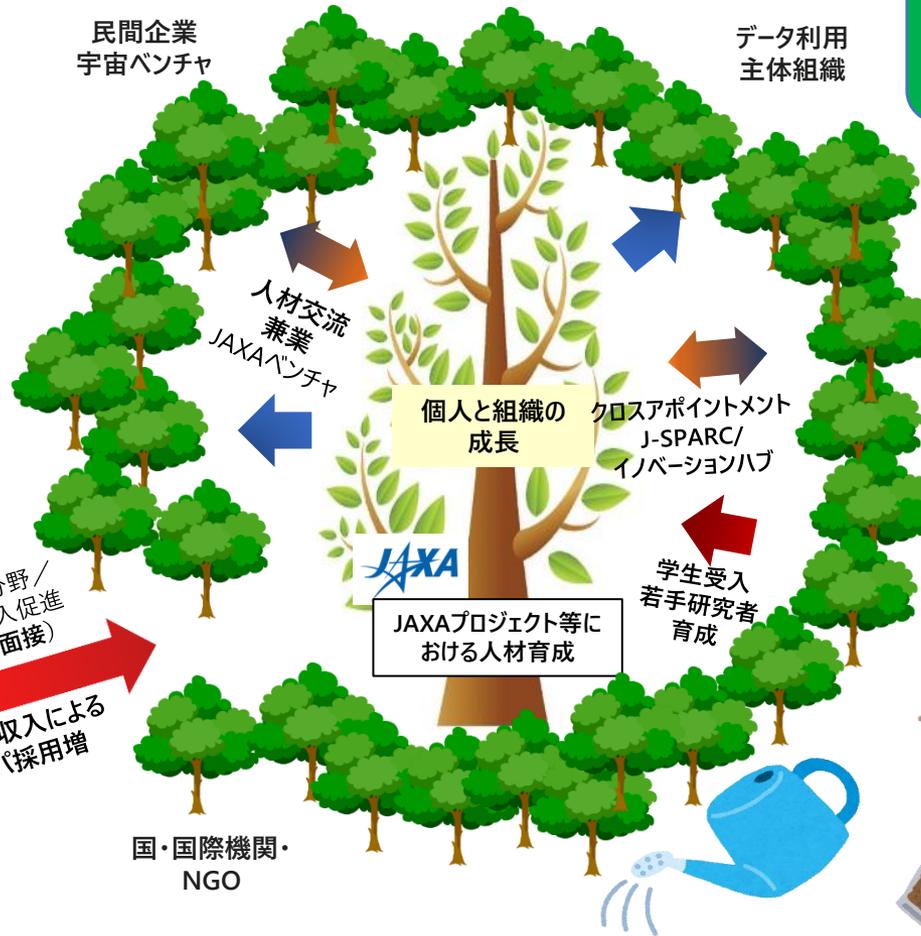
個々の職員の能力向上

組織として新陳代謝しながら成長

宇宙・航空分野全体の人材層の拡大

生産性向上：

JAXA内外のさまざまな場を
活用した宇宙人材育成のための
種まきと施肥



経験者採用により異分野／
異業種からの人材流入促進
(通年採用／Web面接)

非経常収入による
プロパ採用増



異分野／異業種人材



参考

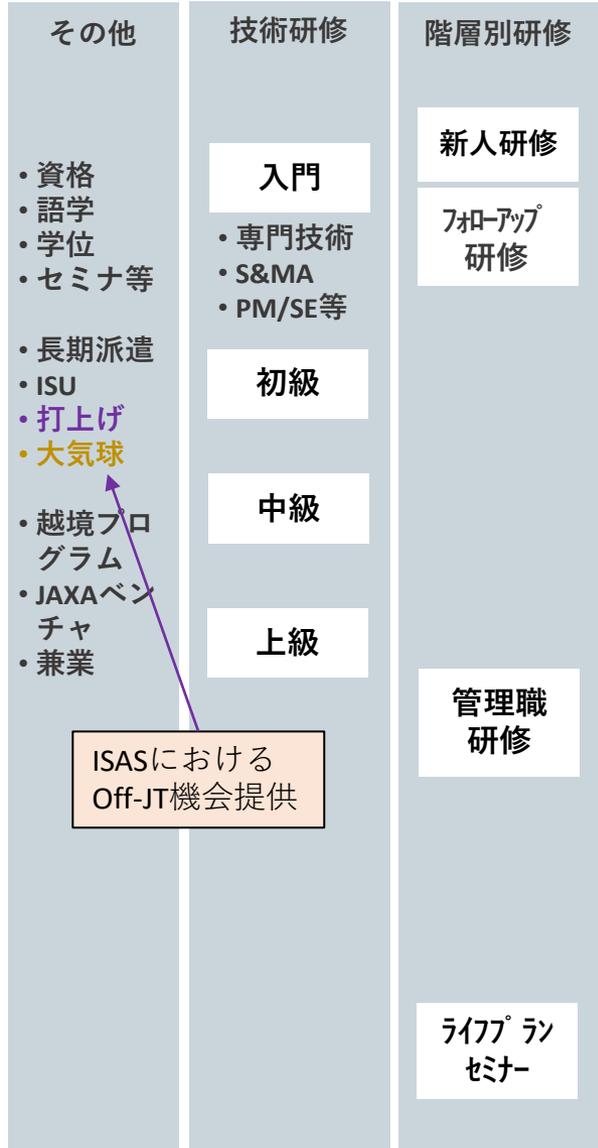
JAXAプロパ育成施策(OJT/Off-JT)

Off-JT(研修/助成等)

新卒採用

OJT (キャリアパス)

専門能力、キャリア志向、適性、組織需要等を勘案



専門知識
思考力の習得

30頃

職務系統に応じた
必要な経験機会の提供

ISASにおける
Off-JT機会提供

